

# M I C E 関連施設の状況について

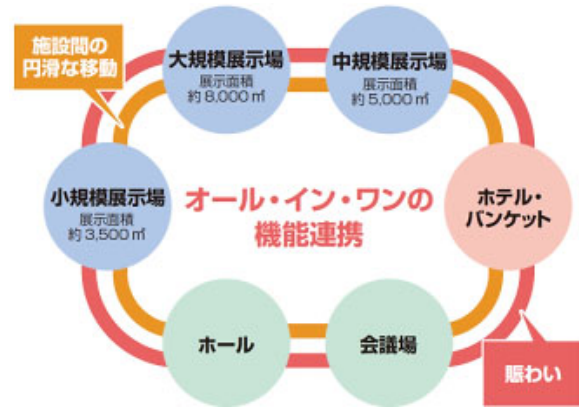
ウォーターフロント地区におけるM I C E 関連施設に関する現況等について報告するもの。

## 1. これまでの検討状況

**M I C E 施設とホテル・利便施設が機能的・一体的に配置される「オール・イン・ワン」の拠点形成  
市民や来街者が文化・エンターテインメントを楽しめる場や海辺を生かした賑わいの創出**

- ①第1期計画としてのマリンメッセ福岡A館に続く,  
マリンメッセ福岡B館の整備
- ②文化・エンターテインメントを楽しめる  
ホールの更新・機能強化
- ③国際会議等に対応できる質の高いホテルの誘致,  
利用者や市民が楽しめる賑わい・憩いの空間づくり
- ④施設間を雨に濡れずに  
安全・快適に移動できる歩行者動線の確保
- ⑤利用者にとって使いやすい交通広場や駐車場の確保

### ■「オール・イン・ワン」の概念



## 2. 施設の整備状況

- 令和2年5月 立体駐車場の供用開始
- 令和3年4月 マリンメッセ福岡B館およびマリンメッセテラス（大屋根広場）の供用開始



マリンメッセ福岡B館（R3.4月供用）



立体駐車場（R2.5月供用）



マリンメッセテラス（大屋根広場）（R3.4月供用）

### 3. M I C E 開催状況

M I C E 施設は、一回目の緊急事態宣言の発出時（R2.4.7～5.14）の休館など大きな影響を受けたものの、その後は、感染防止策を行った上で、国によるイベント開催制限等を踏まえて徐々に再開している。

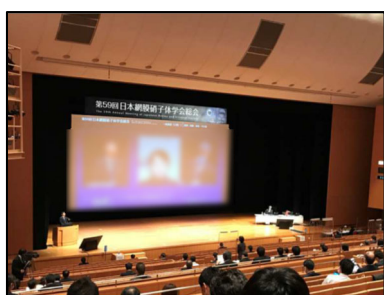
<ウォーターフロント地区のM I C E 施設稼働率>

施設	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (4～6月)
福岡国際会議場	79.8%	77.7%	31.8%	33.1%
マリメッセ福岡A館	90.4%	83.3%	14.7%	36.4%
マリメッセ福岡B館	-	-	-	100%
福岡国際センター	93.7%	80.7%	20.3%	30.5%
福岡サンパレス	82.8%	73.5%	21.0%	60.9%

※稼働率とは、利用可能日数に対する利用日数の割合（福岡国際会議場のみ室数）

※福岡国際会議場は、メインホール・多目的ホール・国際会議室の稼働率

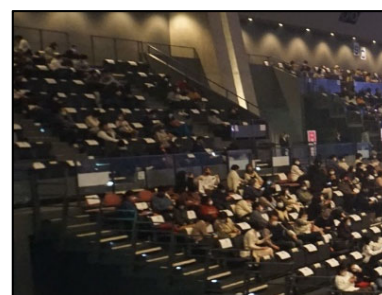
<令和2年度M I C E 開催状況（ガイドライン遵守による開催）>



ハイブリッド形式での討論  
(会議場：学会)



人数制限・広い通路確保  
(メッセA館：展示会)



人数制限・席を空けた会場  
(メッセA館：コンサート)

<M I C E 再開に向けた取り組み>

- 会議場の空調設備強化、サーマルカメラや消毒液の設置、施設内の消毒などの感染症対策を実施
- 催事種別ごと（会議、展示会、コンサート）の施設利用ガイドラインを策定
- M I C E のニューノーマルに対応するため、M I C E のハイブリッド開催や安全対策への助成制度を新設
- メールやオンライン会議などを通じた主催者や関係機関等とのコンタクトの継続による営業活動や情報収集

### 4. 今後の進め方

- 「オール・イン・ワン」のM I C E 拠点の形成に向けて、感染症の影響等を踏まえたM I C E 機能のあり方を検討していく
- また、ウォーターフロント地区再整備については、海辺を活かした賑わいの創出など、関係局と連携して検討を進めていく